

## 映像作品鑑賞のつどいのごあんない

「映像作品鑑賞のつどい」では、文芸映画をはじめとした作品をフィルム上映しております。

平成 22 年度は以下の 4 作品を予定しております。皆様のご応募をお待ちしております。

詳しくは後日配置のチラシでご確認下さい。

※なお、諸事情により、作品や上映時間が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

会 場： 北海道立文学館 地階講堂（開場は上映開始の 30 分前）

定 員： 各 100 名 入場無料（予約制：当日、入場整理券をお持ち下さい）

申込方法： **往復はがき**に①上映作品名②住所③氏名④電話番号をご記入のうえ、ご応募下さい。1 枚のはがきにつき、**2名まで**ご応募いただけます。その際は、**2名分の氏名**をお書きください。（通常のはがき・電話・ファクス等での応募は**無効**とさせていただきます）。

※ 応募の結果は、定員を超えた場合抽選をし、返信はがきでお知らせします。返信がない場合はご連絡ください。いずれの場合もしめきりは**★上映日の 2 週間前（消印有効）**です。

**お申込先：〒064-0931 札幌市中央区中島公園 1-4 北海道立文学館「映画」係**

上映作品

### **第 1 回 6 月 13 日（日） 午後 1 時 30 分～「幕末てなもんや大騒動」**

（1967 年東宝 / 87 分 / 原作：香川登志緒 / 監督：古澤憲吾 / 出演：藤田まこと 白木みのる 谷啓 他）

時次郎（藤田まこと）と珍念（白木みのる）は、人気絶頂の勤王の株を先買いしようと京都へ向かうが、ひょんなことから坂本竜馬に桂小五郎の密書を届ける役を仰せつかる。かくて二人の珍道中が始まる…。

香川登志緒の原作「てなもんや三度笠」を、笠原良三と沢田隆治が共同で脚色し、古澤憲吾が監督した。

高視聴率を記録したコメディ番組 “てなもんや三度笠” から生まれた、シリーズ映画版の 2 作目。

### **第 2 回 8 月 8 日（日） 午後 1 時 30 分～「陽のあたる坂道」**

（1958 年日活 / 209 分 / 原作：石坂洋次郎 / 監督：田坂具隆 / 出演：石原裕次郎 北原三枝 他）

出版会社の社長である田代玉吉（千田是也）、自由奔放な次男信次（石原裕次郎）、足のわるい娘のくみ子（芦川いづみ）ら家族がこの家庭に、くみ子の家庭教師として美しい女子大生が訪れたのを機に、家族は次第に真実の自分をさらけ出していく…。

石坂洋次郎の読売新聞連載小説の映画化で、田坂具隆と池田一朗の共同脚本により制作される。3 時間を超える尺のなかに複雑な人間関係を映しだした青春映画。

### **第 3 回 11 月 28 日（日） 午後 1 時 30 分～「男はつらいよ 寅次郎かもめ歌」**

（1980 年松竹 / 98 分 / 原作・監督：山田洋次 / 出演：渥美清 倍賞千恵子 伊藤蘭 他）

晩秋の江差でテキヤ仲間の一人が寂しく死んで行ったのを聞いた寅次郎。人生の儚さに深い哀れみを覚えた寅次郎は、忘れ形見の娘すみれ（伊藤蘭）を引き取り、色々と面倒を見ることを決意した。定時制高校に通うすみれのいきいきとした姿を見た寅は自分も入学願書を出したが…。

江差、奥尻などでロケが行われた人気シリーズ第 2 6 作。マドンナ役は元キャンディーズの伊藤蘭。

### **第 4 回 2 月 20 日（日） 午後 1 時 30 分～「真剣勝負」**

（1971 年松竹 / 75 分 / 原作：吉川英治 / 監督：内田吐夢 / 出演：中村錦之助 三国連太郎 他）

京の吉岡一門との戦いに勝利した宮本武蔵（中村錦之助）は、鎖鎌で名高い宍戸梅軒（三国連太郎）のもとを訪れ、鎖鎌の技を見せてもらおうとする。対して梅軒は、武蔵が妻お槇（沖山秀子）にとっては仇にあたることを知って討とうとする…。

「飢餓海峡」「血槍富士」などで知られる巨匠・内田吐夢の遺作となった作品。代表作の「宮本武蔵・五部作」のあとに作られた宮本武蔵・番外編ともいわれる。